

# 病院だより110



美祢市病院等事業局管理者  
高橋睦夫

## 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、年明けから中国に端を発して、全世界に新型コロナウイルス感染症が蔓延しました。まさか、このウィルス感染によって、日常の行動や旅行が制約され、経済にも影響するとは思ってもいませんでした。本稿を書いている12月初旬においても、我が国では2,000人を越える多数のコロナ感染者が毎日発生し、第3波が押し寄せているといわれています。今冬の年末年始は県外やコロナ感染拡大地域からの不要・不急の往来が制限されていて、遠方の家族や親戚あるいは知人と会えなかった方が多勢いらっしゃるのではないのでしょうか。ワクチンの開発が進み、いつからかははっきりしませんが、日本国民も本年度の前半期に接種が可能になるものと思われる。兎に角、コロナ感染が鎮静化しないと本年に延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催が危ぶまれます。

昨年の他の重大ニュースといえば、アメリカの大統領選挙でトランプ大統領が敗北し、バイデン元副大統領が大統領に選出されました。バイデン新大統領は穏健派とされていて、トランプ前大統領のアメリカファースト政策ではなく、世界の国との協調や地球温暖化の抑制など全世界の人にとって、有益な政策をとってくれることを期待しています。

我が国では、安倍前総理が引退し、官房長官を務めていた菅義偉氏が新首相に選ばれました。政策は安倍前総理のものを継承し、縦割り行政の廃止、デジタル庁の新設などをより力強く推進してくれるものと思います。

さて、美祢市病院事業の今後のことについて、2点述べたいと思います。

一昨年、全国424の公立・公的病院が再編統合の検討を必要とする病院として指定され、大きな反響を呼びましたが、国民の生命・健康に重大な影響を与える感染症への対応の視点から、取組みの仕切り直しを迫られています。

今後の議論も踏まえつつ、美祢市の10年後、20年後の医療体制を市民の皆様とともに考えていきたいと思っています。

2つ目は、よいニュースです。この1月から、整形外科医（山本健志医師）が、美祢市立病院に常勤で来てくれることになりました。山本医師は大学を卒業して30年間、第一線の整形外科医として県内の病院に勤務しており、臨床経験の豊富なベテラン医師です。骨折などの外傷を含めて整形外科疾患の全てに精通していますので、もし、怪我をした場合や足腰が痛くなった場合は、躊躇なく美祢市立病院の受診をお願いします。

本年は、新型コロナウイルス感染症が収束し、東京オリンピック・パラリンピックが開催されることを願って、新年のご挨拶と致します。